

私は、1941年大阪市住吉区粉浜で生まれました。4歳の時に大阪の空襲にあいました。お母さんに手を引かれて逃げたのをかすかに覚えています。空襲で家も焼かれ堺市に来ました。空襲のことは詳しく思い出すことはできないのですが、戦争が終わった後も飛行機の音を聞くと怖くなります。また戦争が始まるのではないかと心配になります。

戦争が終わって何年かして母が病気で亡くなりました。私が9歳の時でした。それから父は仕事で家にいないことが多いので家の用事と妹の世話を私がするようになりました。その頃はご飯を炊くにも火を起さなければならぬし洗濯は手でしなければなりません。家の外に近所で一緒に使う水道があり、手で洗濯をするのですが冬の寒い時はつらい仕事でした。

小学校を卒業すると近くの織物会社に働きに行き、中学校へは行けませんでした。大人になって「なんで自分だけ中学校に行けなかったのか？」と何度も考えました。仕事は何とかしましたが、職場の友だちや近所の人たちと話をすると、人が学校の話をするのがとても嫌でした。みんなとても楽しそうに学校のことを思い出して話するととてもつらくなりました。もう一度学校で勉強したいと心の中でいつも思っていました。でもそれを口にするにはできないまま、時間が過ぎていきました。あるとき近くの小学校で夜間中学のポスターを見つけました。それまで、夜間の中学校があるということは知りませんでした。ああこんないいものがあるんだと思いました。なかなか夫に言うことができませんでした。夫はいつも夜に一人で外に出たらあかんと言っていたからです。その上その頃、夫は病気で寝ていることが多かったです。

夫が亡くなりそれからしばらくして夜間中学に入学することにしました。その時すでに私は70歳になっていました。勉強がむずかしかったらどうしよう私でも勉強できるのかなと思いながら始まった学校生活ですが、各教科の先生方はやさしくていねいに教えてくれます。

勉強で特に面白いのは国語と社会です。私はもともと本が好きでよく読んでいました。偉い人の伝記や自叙伝などを読むのが好きでした。でも時々漢字が分からない時もあり、とばして読んだり辞書で調べたりして大変でした。学校に入って難しい漢字もたくさん覚えました。社会科では歴史のことなども分かるようになりました。堺には行基という偉いお坊さんがいたということなども知りました。勉強ができる今が幸せです。私にとっては今が青春です。

それから、自信を持てるようになったのか気持ちも明るくなってきました。生徒会の役員をするようになってから人前で話すのが苦手だった私が大勢の人の前で話ができるようになってきました。これからも一生懸命勉強して前向きの人生を送りたいと思います。

殿馬場夜間中学卒業生 森本文子